

## 東海ブロッククラブネットワークアクション 2018 開催要項

テ ー マ : 『これからのクラブー継続と発展ーを視点に集い学ぼう』

1. 趣 旨 : ブロック内の総合型地域スポーツクラブ関係者（創設準備中団体を含む）が一堂に会し、総合型地域スポーツクラブの運営に必要な情報や課題解決に向けた具体的な取り組み事例等について情報共有を行い、クラブ育成・支援のためのネットワーク強化と各都道府県総合型クラブ連絡協議会間の連携体制をより一層促進する。

併せて、ブロック内の特徴あるクラブの実例を聴くことを通して、成長期から成熟期に移行しようとしている現在の既存クラブが、将来への継続と発展に向けて斬新なアイデアを産み実現してゆくために関連付けて学ぶ機会を設ける。

さらには、ステークホルダーとの関係づくりのヒントとなる事例を学んだり、受託・助成等の申し入れを効果的に行うための提案力について学んだりする機会を設け、「新しい公共」を標榜するクラブが周囲の社会や組織と友好な関係を結びながら発展を志してゆくために必要な知識的基盤の形成を促進する。

2. 主 催 : 公益財団法人日本スポーツ協会 総合型地域スポーツクラブ全国協議会  
(SC全国ネットワーク)

3. 主 管 : 東海ブロッククラブネットワークアクション実行委員会

4. 後 援 : スポーツ庁

5. 協 力 : 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

6. 日 程 : 平成 30 年 12 月 1 日 (土) 13:00~17:15(12:30~受付)  
12 月 2 日 (日) 9:00~12:15(8:30~受付)

7. 会 場 : 長良川スポーツプラザ

〒502-0817 岐阜市長良福光 2070-7 TEL : 058-295-6300

最寄りバス停 : 岐阜メモリアルセンター前 (三田洞線) 下車徒歩 3 分

※名鉄岐阜バスターミナル発

岐阜メモリアルセンター北 (市内ループ線) 下車徒歩 3 分

※J R 岐阜駅発

詳しくは「岐阜バス」ホームページをご確認ください。

8. 参加対象者 : 都道府県総合型クラブ連絡協議会加入クラブ, 創設支援団体 (義務参加)  
自立支援・マネジャー設置支援クラブ (補助 1、2 年目のクラブは義務参加)  
都道府県体育・スポーツ協会等担当者, 行政担当者  
その他、総合型地域スポーツクラブに関心のある者で本会が認めた者

9. 内 容 : < 1 日 目 >

- ① 共通プログラム : 障がい者スポーツシンポジウム  
テーマ「障がい者スポーツと総合型地域スポーツクラブとの関わりを考える」
- ② 事例発表 : ユニークな活動、特色のある活動をしているクラブ

< 2 日 目 >

- ① 日本スポーツ協会からの情報提供
- ② 事例発表 : ステークホルダーとの関係を築くには
- ③ 講演「提案する力～事業計画書の作り方」

10. ネットワークアクション実施協力金 : 3,000 円 (税込)

※納入方法については、別途案内します。

11. そ の 他 :

- (1) 本ネットワークアクション参加に係る旅費について、本会を通じた創設支援団体・自立支援クラブの出席者は、創設・自立支援事業経費より、経理処理要領・補助対象経費基準表に基づき支出することができます。
- (2) 本ネットワークアクションを本会公認スポーツ指導者の資格更新のための義務研修とします(全プログラムに参加することを条件とします)。  
ただし、水泳、サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、バウンドテニス、エアロビック(上級コーチのみ)、チアリーディング(コーチのみ)、スクーバ・ダイビング、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、プロゴルフ(教師・上級教師)、プロテニス、プロスキーの資格者については、別に定められた条件を満たさなければ資格を更新できません。テニスの指導者は2ポイントの実績になります。(平成30年4月1日現在)
- (3) 本ネットワークアクションにおいて撮影された写真は、本会ホームページや各種報告資料に掲載することがあります。
- (4) 不明な点については、下記にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

公益財団法人日本スポーツ協会 地域スポーツ推進部 クラブ育成課

TEL : 03-3481-2278 FAX : 03-3481-2284

※本ネットワークアクションは、東京2020応援プログラム(スポーツ・健康)として実施します。



**フェアプレイで日本を元気に!** ~あくしゅ、あいさつ、ありがとう~

目指せ100万人のフェアプレイ宣言! WEBで好評受付中!

<http://www.japan-sports.or.jp/fair/>

公益財団法人 日本スポーツ協会

# 東海ブロッククラブネットワークアクション2018 日程表

テーマ『 これからのクラブー継続と発展ーを視点に集い学ぼう 』

1日目 [12/1 (土)]		2日目 [12/2 (日)]	
		8:30	受付
		9:00	●日本スポーツ協会からの情報提供 (30分)
		9:30	●事例発表 (独自プログラム60分) テーマ: 「ステークホルダーとの関係を築くには」 ・事例発表① 「スポーツクラブもアイディア勝負～民間団体と上手に付き合う手段～」 岸田 美也子氏 (公益社団法人ぎふ瑞穂スポーツガーデン) ・事例発表② 「豊田市内のクラブ主導での連絡協議会」 三田 博司氏 (認定NPO法人朝日ヶ丘スポーツクラブ)
		10:30	休憩
		10:40	●講演 (独自プログラム90分) テーマ: 「提案するか～事業計画書の作り方～」 講師: かにNPOセンター 理事長 山口 由美子氏
		12:10	【全体まとめ・閉会式】
12:30		12:15	
			受付
13:00			【開会式】 主催者挨拶、プログラムの趣旨説明等
13:15			●障がい者スポーツシンポジウム (共通プログラム105分) テーマ: 「障がい者スポーツと総合型地域スポーツクラブとの関わりを考える」 ・パネリスト 青山 幸二氏 (岐阜県特別支援学校体育連盟) ・パネリスト 松井 文徳氏 (一般社団法人 岐阜県障害者スポーツ協会) ・パネリスト 杉山 克秀氏 (総合型地域スポーツクラブ F-SPO) ・コーディネーター 梁瀬 歩氏 (東海ブロッククラブネットワークアクション実行委員長)
15:00			休憩
15:15			●各県クラブ事例発表 (独自プログラム105分) テーマ: 「ユニークな活動、特色のある活動をしているクラブ」 ・山下 安範氏 (静岡県: 磐田市竜洋スポーツクラブ) 「会員は市民全員」 ・辻 朝氏 (愛知県: あまスポーツクラブ) 「応援会員を上手に活用」 ・田中 由紀子氏 (三重県: 桶スポーツクラブ) 「ライフスポーツ財団活用」 ・加藤 浩一氏 (岐阜県: 上之保ほほえみスポーツクラブ) 「7月豪雨の事例」
17:00			事務連絡等
17:15			

2018

# 東海ブロック クラブネットワーク アクションin岐阜

テーマ：「これからのクラブ—継続と発展—を視点に集い学ぼう」

2018年

12月1日(土)～2日(日)

スポーツくじ



場所：長良川スポーツプラザ 2F 大会議室 岐阜市長良福光2070-7

TEL：058-295-6300 (無料駐車場に限りがあります。会場北側に有料駐車場有)

参加費：3000円/人 ※実施協力金として

申込方法：日本スポーツ協会オンラインフォームよりお申し込みください。

(URL:<https://e.japan-sports.or.jp/cms/form/event.php?eid=396>)

※全プログラムに参加することにより日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格更新のための義務研修になります。

12月1日(土)

13:00～17:15 (12:30～受付)

- ・ 共通プログラム (障がい者スポーツシンポジウム)
- ・ 各県事例発表 (テーマ：ユニークな活動、特色のある活動をしているクラブ)

12月2日(日)

9:00～12:15 (8:30～受付)

- ・ 事例発表 (テーマ：ステークホルダーとの関係を築くには)
- ・ 講演「提案する力～事業計画書の作り方～」

情報交換会 (1日目終了後)

12月1日(土) 18:30～20:30

ダイニングてっぺん岐阜キャスルイン10F

会費：5000円 ※1日目の受付時に徴収いたします。

日本スポーツ協会オンラインフォームにてお申し込みください。

問い合わせ先：公益財団法人日本スポーツ協会 地域スポーツ推進部クラブ育成課

TEL：03-3481-2278 FAX：03-3481-2284

主催：公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 (SC全国ネットワーク)

後援：スポーツ庁 協力：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

主管：東海ブロッククラブネットワークアクション2018実行委員会

# 長良川スポーツプラザ 会場案内



## ～バス時刻表～ JR岐阜

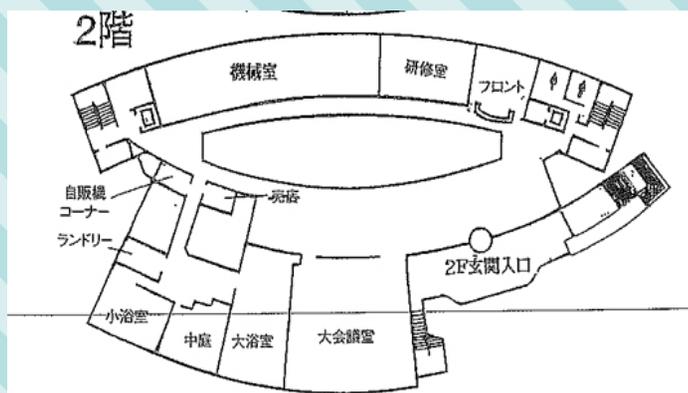
JR岐阜(市内ループ)→  
岐阜メモリアルセンター北  
12:10発→12:29着

JR岐阜(三田洞線)→  
岐阜メモリアルセンター前  
12:15発→12:31着

## ～バス時刻表～ 名鉄岐阜

名鉄岐阜BT(市内ループ)→  
岐阜メモリアルセンター北  
12:13発→12:31着

「岐阜メモリアルセンター北」  
はセブンイレブン前  
「岐阜メモリアルセンター前」  
は補助競技場前  
に停車します。



## ～情報交換会のご案内～

東海地区の仲間と情報交流、親睦を深めましょう！！

### ～バス時刻表～市内ループ

岐阜メモリアルセンター北  
→名鉄岐阜(神田町通り)

17:44発→18:03着  
18:04発→18:23着

### ～バス時刻表～三田洞線

岐阜メモリアルセンター前  
→名鉄岐阜(名鉄BT)

17:37発→17:57着  
18:07発→18:26着



場所

ダイニングてっぺん岐阜キャッスルイン10F  
〒500-8176 岐阜市県町2-8  
※近隣の駐車場かバスをご利用下さい。  
(駐車場は宿泊者のみ)

日時

12月1日(土) 18:30～20:30

会費

5,000円  
※1日目の受付時に徴収いたします。

申込み

日本スポーツ協会オンラインフォーム  
より申込みください。



東海ブロッククラブネットワークアクション

## 共通プログラム

「障がい者スポーツと総合型地域スポーツクラブとの関わりを考える」

## シンポジウム提案趣旨

実行委員長 SC 全国ネットワーク東海ブロック常任幹事 築瀬 歩

かつてと比較すれば、障がい者のスポーツに対する認識はずいぶんと高まってきたことを感じる。オリンピック競技会についてのコメント等では必ずパラリンピック大会を併記するようになったし、テニスや陸上をはじめとして障がい者のトップアスリートも観るスポーツの価値を高めつつある。

一方、特に地域に密着したスポーツの普及振興に関して期待を寄せられる総合型地域スポーツクラブにおいても、障がい者に門戸を開くことを考え始めている。先駆的なクラブではすでに障がい者専用のプログラムを提供し始めている。また、そこまでの取り組みに進めないまでも、地域に在住する障がい者の住民をいかにクラブに引きつけるかを考えているところは多いと思われる。

しかしながら、これらの取り組みには、受入に対するモチベーションだけでは解決できない課題が多く存在する。実際に障がい者を受け入れるプログラムを提示していても、入会者が近づいて来ないケースも多く存在する。原因を究明すると、クラブの論理・提供者の論理のみでプログラムを考えており、それらが本当に地域に在住する障がい者の方々のニーズやウォンツにマッチしているかどうかを検証されていないからかもしれない。

そこで、今回のシンポジウムでは障がい者団体の関係者や支援学校の関係者、あるいは先駆的に障がい者を受け入れて事業を展開しているクラブ経営者に登壇して頂き、経験に裏付けられた提案を頂くことを通して、顧客としての障がい者の方々がクラブやその事業にどのようなことを求めるのかを明らかにしていきたいと考える。

我々は、本シンポジウムでの議論によって導かれる参加者の「納得解」が、参加する各クラブがそれぞれの地域で障がい者に対して門戸を広げてゆくための指針になることを願うものである。